

12月4日礼拝説教(隅野徹牧師)短縮版「神のことばは必ず使命を果たす」(イザヤ55:1～13)

遥かに高い神の思いと、私たちの思いをつなぐ「神の言葉」、それが「どのように天から私たちに降り注ぐのか」そして「具体的にどのようにして、私たちに恵みと憐れみ」を与えるのか、その答えの一端が11節後半で見て取れます。

神の言葉は「天の父なる神の御心を必ず成し遂げる、そして天の父なる神の与えた使命を必ず果たす」とあります。これは、クリスマスにこの世に来てくださった「神の独り子、イエス・キリスト」のことが預言されていることは間違いありません。

神の言葉である「独り子イエス・キリスト」が、2000年前のクリスマスにこの世に降ってくださいましたが、それは「私達の思いを遥かに超えた、神の御心をこの世で成し遂げるため」であることが、ずっと前から約束されていたのです。その御心とは6節、7節から分かるように「人を悪から救い、赦す」ということです。イエス・キリストは「この御心を行う使命を果たす！そのために」この世に来てくださったことを、アドベントの今、深く心に留めましょう。

私達の造り主である「神ご自身が、私達人間の罪を赦すために、ご自分の独り子をこの世に送られたこと」…それは、人間の考えを遥かに超越するものです。それだけ、神が私達人間一人ひとりを愛しておられることを心に留めて、この先も歩んでまいりたいと願います。(終)